

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-97294

(P2000-97294A)

(43)公開日 平成12年4月4日(2000.4.4)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

F 1 6 H 1/20

F 1 6 H 1/20

3 J 0 0 9

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号

特願平10-306242

(22)出願日

平成10年9月24日(1998.9.24)

(71)出願人 592023427

福一 清

東京都豊島区西池袋4丁目24番地12号  
305

(72)発明者 福一 清

東京都豊島区南長崎6丁目3番地9号3401

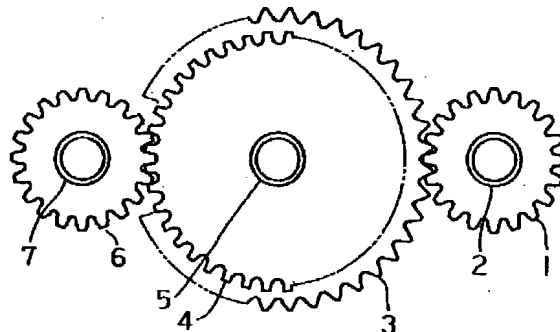
Fターム(参考) 3J009 DA20 EA11 EA21 EA32 EB11

(54)【発明の名称】 増強歯車

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 入力エネルギーの低減

【解決手段】 1は増強歯車への入力歯車で、3は入力歯車1に噛み合う+転位歯車である。この+転位歯車3と同一軸5で固着又は一体になった増強歯車を構成する-転位歯車4を経て出力歯車6に噛み合わされている。この転位した増強歯車及び入力歯車1と出力歯車6は同じ歯数である。この構成から互いの転位量の差からモーメントが異なり回転力が増強される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 転位歯車を用いることを特徴とする増強歯車。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】回転力増強装置に関するものである。

## 【0002】

【課題を解決するための手段】本発明は、大幅に転位した歯車構成にする。

## 【0003】

【作用】この+転位歯車に作用した力は一体になった-転位駆動歯車に作用し、半径の違いから増強される。

## 【0004】

【実施例】図1は、本発明の1実施例の平面図であって、1は増強歯車への入力歯車で、3は入力歯車1に噛み合う+転位歯車である、この+転位歯車3と同一軸5で固着又は一体になった増強歯車を構成する-転位歯車4を経て出力歯車6に噛み合わされ、この転位した増強

歯車及び入力歯車1と出力歯車6は同じ歯数である。この構成から互いの転位量の差からモーメントが異なり増強される。また、増強歯車は歯数が少ない方が増強率が良く図示されていない出力歯車6を+転位させこれと同一軸7に-転位の歯車から次の増強歯車に伝導することで約2倍の増強効果がある。これを数段連続することで大幅に回転力が増強され、また、転位と同時に変速歯車を用いることで同時に減速増強歯車構成になる。

## 【0005】

10 【発明の効果】この増強歯車を用いることで入力が大幅に低減される。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】増強歯車を示した平面図である。

## 【符号の説明】

- 1 入力歯車
- 2, 5, 7 歯車軸
- 3 +転位歯車
- 4 -転位歯車
- 6 出力歯車

【図1】

